

公表 児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		わかば神森		公表日		R7年 2月 25日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		移転後室内が広くなり、日々利用者様が安全に広々とプレールームを使用できるようにしている。	児童発達の利用者様が増え、曜日によっては同一屋内での支援のスペースが狭く感じるため、創意工夫に努める。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1		平日、下校時間が大きく異なる場合、活動に応じて仕切りの必要性を感じる為、仕切りを使用していく。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・清掃表を用いて、日々掃除担当をし、清潔を心がけている。 ・玩具の置き場を写真でわかりやすく示したりしている。	入ってはいけない部屋のドアを分かりやすく示していく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		利用者様の年齢、発達段階に応じた環境整備を行っている。 ・所々手の行き届かない場所がある為、気が付いたらすぐに清掃している。	清掃分担表はあるが表に従ってできていない日もあるので、確認し毎日清掃を行っていく。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		クールダウンが必要であったり、個室の方が宿題等集中できる場合等、必要に応じて使用している。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6			Do(実行)のところが甘く、時間に余裕がないと抜けやすい。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・情報共有を密に取り、意見を発信し合っている。 ・日頃から思ったことや改善した方が良いことなど話し合っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		市・町・協議会主催の研修に参加や法人でも様々な研修の場を設け、参加している。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		利用者様の特性、課題、強み等職員間で共有している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・全員で案を出し合い、どの利用者様も参加できるような活動を立案している。 ・年齢の幅が広がり日によっては集団の療育が難しい時もあるが、利用者様に合った療育を毎月話し合っていて決めている。 ・先月の活動よりも、より良い活動になるように反省を活かして話し合っている。		

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		毎月様々なイベント、活動を計画しており、可能な範囲で季節を楽しむプログラムを導入している。 ・固定化してしまうと飽きてしまう為、同じ活動は入れないように月案を立てている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			個別活動を推進する道具を増やすように努める。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		土曜日は児童発達の利用者様が多い為、土曜日の朝礼は特に分かりやすく時間をかけている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・利用者様の課題だけでなく、強みに集中した話し合いを行っている。 ・毎日全員意見を出し合い共有している。 ・意見も出やすく内容の濃い終礼になっている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		次回どのように支援したらよいか等がわかる内容で記入できるように情報共有を行いながら記録を取っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			・お迎え時ではあるが情報共有をできる限り行っている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	3		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	3		なかなか児童発達支援センターの方との交流の場を設ける機会がないが、今後助言等受ける機会を設けるように努める。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		・交流の機会はないが必要に応じて情報交換に努めている。 ・今後も情報共有に努める。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			・保護者様に寄り添い、保護者様の意向も職員間で共有している。 ・些細なことまで伝えるようにしている。 ・出来るようになってきていること等、成長を保護者様と共有し合っている。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2		・専門機関主催の研修に参加している。 ・今後も積極的に研修に参加していく。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6				

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		時間をかけて行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	3	保護者会は行っていないが、保護者様参加型の行事は行い、交流の機会を設けている。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		相談があった際はすぐに対応し、都度話し合いを行い、職員間でも周知している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		毎月お便りを配布している。（事業所と法人全体のお便り）	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1	秋にわかば祭りを開催し、どなたでも参加していただけるようにお知らせしている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			服薬に関して、新人職員等理解していない職員もいる為、周知徹底に努める。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			現在食物アレルギーの利用者様はいないが、今後受け入れがあった際には指示書に基づいて必要な対応を行う。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		その都度、記録に残し話し合いを行い、再発防止に努めている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		法人研修を定期的に行っている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6			現在、身体拘束を行う利用者様がないが想定した話し合いを行っていく。	

公表	放課後等デイサービス事業所における自己評価結果
----	-------------------------

事業所名	わかば神森					公表日	R7年 2月 25日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		ロッカーの配置等、広々と部屋が使えるように工夫している。	・利用者数が増え、手狭になってきている。 ・年齢差が大きく、同一の部屋で行う支援が難しい日がある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	土曜日、児童発達の利用者様が多く放課後等デイサービスの利用者様とゆっくり関わることが難しい時もあるため、平日放課後等デイサービスの利用者様としっかりと関われるように心がけている。	土曜日は児童発達の利用者様が多く、放課後等デイサービスの利用者様と別々にわけて療育を行えるように検討する。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		一日のスケジュールを明確化し、次の活動が何かを視覚でもわかるようにしている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		毎日振り返りを行い、職員間で支援方法を一致させたり、情報共有を行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・全職員に意見を仰ぎ、その意見を反映している。 ・ミーティング等で情報共有を行い、意見交換を行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・研修の案内等で多くの機会をいただいている。 ・市・町・協議会主催の研修や法人全体でも研修の場を設けている。		
その他	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		職員会議で話し合いを行い、作成できている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		定期的に計画を見直し、利用者様のニーズに合った支援を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6				

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・全員で案を出し合い決定している。 ・毎月話し合いを行い、全員で決めている。 	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・同じ活動でも難易度を変えることで利用者様の発達支援へと繋がるよう工夫している。 ・毎月活動表を作成している為、毎日の活動を変え、その日の利用者様に合わせた活動を行っている。 	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			個別活動を推進する道具を増やすように努める。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		毎日必ず振り返りを行い、良い点や改善点を共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		毎日個別記録をとり、利用者様の様子を把握できるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様が自ら自分の意思を発信できるよう、促し支援を行っている。 ・自ら行動、発言するまで待つことを支援の一つとし行っている。 	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時の情報共有を欠かさず行っている。 ・お迎え時、学校やわかばでの様子を共有し、職員にも情報共有を必ず終礼で行っている。 ・連絡調整は必要に応じて都度行っている。 	今後も積極的に情報共有を心がけていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて提供している。 ・卒業後も日中一時を利用している利用者様もみえ、就労先との担当者会議には出席し、情報共有を行っている。 	連携を大切にしていきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3		機会を設けていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1		今後も積極的に参加していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様と情報共有を行う中で、保護者様視点の不安や葛藤に寄り添っている。 ・密に行っている。 	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1			

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		保護者様の気持ちを受け止め、事業所で行っている支援を情報共有したり、共に考えながらサポートを行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	4	保護者会は行っていないが保護者参加型の行事は行い、交流の場を設けている。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		すぐに対応し、話し合いを行い職員間でも周知している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		毎月事業所と法人全体のおたよりを配布している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	秋にわかば祭りを開催し、どなたでも参加していただけるようお知らせした。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			食物アレルギーの利用者様が現在いないため、今後受け入れの際に指示書に基づいて必要な対応を行っていく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		その都度、記録に残し話し合いを行い、再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		法人内研修を定期的に行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1		現在、身体拘束を行う利用者様がいらないが想定した話し合いを行っていく。	